



Institute of Labor Education & Culture

通信 No.40

2015年 1月15日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：木村裕士専務理事

新年のご挨拶



理事長 南雲 弘行

明けましておめでとうございます。

旧年中、皆様方には（公社）教育文化協会に対するご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また本年が皆様方にとってさらなる飛躍の1年となりますようお祈りいたします。

昨年12月14日に衆議院議員総選挙が実施され、自公が2/3を超える議席を獲得し、同24日には第3次安倍内閣が発足しました。それまでの第2次安倍内閣の約2年間で振り返ってみますと、アベノミクスの推進により、急激な円安の進行や株価上昇などから大企業には恩恵があったものの、そこから経済全体への波及効果はほとんどみられませんでした。私たち国民の生活は物価上昇や消費増税などにより厳しさを増し、特に働く者の生活を支える賃金をみても、名目ではプラス傾向にあるものの、物価上昇分を加味した実質ではマイナスが続いており、生活が向上している実感は乏しかったといえます。

今後、最長4年は自公政権が続くことでアベノミクスが継続され、労働分野の規制緩和やさらなる格差拡大を招きかねない経済運営が行われることになれば、国民にとって、より厳しい道が続く可能性が高くなったといわざるをえません。

こうした先行きが見えない時だからこそ、将来の不安を払しょくするために、改めてすべての働く者が連帯して立ち上がるべきだと考えます。そのためにも、多くの働く人たちが労働者の権利やワークルールについて学び、働くことに最も重要な価値を置き、働くことの尊厳や連帯の意味を当然のこととして理解し、「労働文化」を育んでいく必要があると思います。そして、「労働文化」を通じ、連合がめざすべき社会像として掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざしていくことが必要です。

本年も、（公社）教育文化協会は、引き続き「労働文化」づくりに努めてまいります。具体的には、若者への労働教育を目的に同志社大・一橋大・埼玉大・法政大で開講しています連合寄付講座（講義）をさらに充実させていきます。また、地方におきましても、多くの若者に学んでいただけるよう、山形大・佐賀大・福井県立大・三重大・滋賀大・長崎大・大分大における地方連合会寄付講座の取り組みを支援するとともに、こうした輪を全国にもっと広げるため、講座の開設を検討している地方連合会からの要請にしっかりと応えていきます。

また、2001年に開講しこれまでに326名が受講しているRengoアカデミー・マスターコースにつきましては、プログラムの一層の充実などを通じ、連合運動の次代を担うリーダーの育成をはかります。

文化事業を含め、これらの事業をしっかりと展開していくためには、連合をはじめとした関係各方面とより密接に連携していきます。

あわせて、公益社団法人である教育文化協会は会員組織のみならず、広く一般の皆様にも開かれた公益目的事業を展開していることから、より多くの皆様にご参加いただけるよう、広報のあり方などの工夫を通じ、発信力を高めていきたいと考えています。

（公社）教育文化協会は、「働くことを軸とする安心社会」の実現を念頭に、しっかりと社会の共感を呼び参加していただける、共に学びあう事業を推進してまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

Rengoアカデミー第14回マスターコース開講

2014年11月16日（日）にRengoアカデミー第14回マスターコース（校長：古賀申明連合会長）が開講し、5泊6日の前期合宿をMELONDIAあざみ野で行いました。今回の受講生は総勢19名（男性16名、女性3名）です。

初日の開講式では、主催者を代表して南雲弘行理事長より、「アカデミーでは一流の講師陣からしっかりと学んでいただくとともに、普段の業務ではなかなか会うことができない仲間との輪をつくり、今後の活動に活かしていただきたい」との挨拶がありました。

続いて、高木郁朗Rengoアカデミー副校長、および中村圭介教務委員長（東京大学教授）から、受講生に対し、マスターコースを受講するにあたっての心構えや激励のメッセージをいただきました。また、受講生を代表して自治労の田村美都子さんから今後約1年にわたるマスターコースに向けて決意表明が行われました。



▲第14回マスターコース受講生のみなさん



▲南雲理事長



▲高木副校長



▲中村教務委員長



▲決意表明を行う自治労
田村美都子さん

前期合宿では、受講生は経済産業政策や社会労働政策、組織運営など幅広い領域・分野の講義を受けるとともに、グループワークなどを通じて自分たちの産業や組織、置かれている立場から活発な意見交換を行いました。各講義に対し、受講生からはアンケートで、「重要なポイントをわかりやすく話していただいた」「大変すばらしかった。是非、現場に帰って活かしていきたいと思う」などの声をいただいています。

講義後は各ゼミに分かれ、修了論文作成に向けて夜遅くまで熱心に議論を交わしました。なお今回は、前回に引き続き高木副校長、毛塚勝利中央大学教授、橋元秀一國學院大學教授、禹宗杭埼玉大学教授、木本喜美子一橋大学大学院教授にゼミナールを担当していただいています。

今後、受講生は自学自習に励みつつ、必修ゼミと後期合宿（2015年5月10日（日）～15日（金））において、さらに考察を深め、修了論文の提出、教務委員長の監修を経て9月に修了式を迎える予定です。

各組織におかれましては、引き続き受講生への温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



▲講義での熱心な質疑応答の様子

【ゼミとそのテーマ】

ゼミ名	テーマ
高木ゼミ	経済・産業と労働組合
毛塚ゼミ	労働法と労働組合
橋元ゼミ	企業・職場と労働組合
禹ゼミ	グローバル化と日本の労働組合
木本ゼミ	少子高齢社会のなかの人間と労働組合

Rengoアカデミー第14回マスターコース講義一覧（前期）

講義日	講義科目	講師
11.16(日)	「労働運動の歴史」	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
	「アサーティブ・トレーニング」	森田 汐生 アサーティブ・ジャパン代表
11.17(月)	「労働者自主福祉の課題」	大塚 敏夫 中央労協事務局長 白井 陽一 労金協会経営企画部次長 飯倉 裕之 全労済経営企画部次長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
	「論文のまとめ方」	高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11.18(火)	「現代日本経済論」	宮崎 徹 早稲田大学講師
	「労働法の基礎」	野川 忍 明治大学法科大学院教授
11.19(水)	「ジェンダーと労働」	神尾真知子 日本大学教授
	「現代社会保障のとらえ方」	菅沼 隆 立教大学教授
11.20(木)	「国際労働運動の課題と対応」	吉田 昌哉 連合総合国際局長
	「組合リーダーに聞く」	三浦 和枝 自治労全北海道庁労働組合連合会書記長 片山 康夫 ヤマト運輸労働組合書記長 高木 郁朗 Rengoアカデミー副校長
11.21(金)	「人材活用と人事管理の課題」	橋元 秀一 國學院大學教授
	「連合の役割・行動Ⅰ－連合運動における自らの役割」	古賀 申明 連合会長 南雲 弘行 理事長 木村 裕士 専務理事 中村 圭介 Rengoアカデミー教務委員長

第9回「労働法講座」(基礎コース)を開催

～連合組合員、一般参加者ら51名が受講～

2014年10月27日(月)～28日(火)、連合会館において第9回「労働法講座」(基礎コース)を開催しました。連合構成組織・地方連合会などから51名が参加し、今回初めて一般の方も受講されました。

講座には2名の労働法学者をお招きし、初日は野川忍明治大学法科大学院教授から労働法の役割・全体像、労働基準法、労働契約法などを、2日目は森戸英幸慶應義塾大学法科大学院教授から労働組合法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法などを中心に講義いただきました。

続いて連合本部から、伊藤彰久連合労働法制対策局長が労働者保護ルール改悪阻止の取り組みについて紹介しました。その後、田島恵一連合中央アドバイザーが労働相談事例を交えながら、労働法の活用と労働組合の対応について実践的な話を展開しました。



▲講座の様子



▲野川教授



▲森戸教授



▲伊藤局長



▲田島アドバイザー

受講者アンケートより

- ◇労働法制の基本的な理念を学ぶことができた。
- ◇労働法の解釈を通じて、自分のやるべきことがはっきりした。
- ◇最近の法改正や動向など、最新の情報を知ることができた。
- ◇具体例を多く交えた講義で分かりやすかった。

- ◇連合の取り組み、考え方を知ることができた。
- ◇労働組合の役割・大切さを改めて認識した。
- ◇労働法について体系的に学ぶ機会がなかったので、とても勉強になった。
- ◇実に有意義な講義だった。もっと多くの組合員に受講してもらいたい。
- ◇講座内容を今後の活動に活かしたい。

「ワークルール検定2014・秋(初級)」を2014年11月に実施

ワークルールに関する知識を身につけたいという社会的なニーズの高まりを受け、労働に関わる一般的な知識について検定を行う「ワークルール検定」が、2013年から始まっています。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに、本検定の展開・拡大に取り組んでいます。

2014年は、6月に続き11月23日(勤労感謝の日)に全国7カ所で初級検定を一斉実施し、584名が受検、内385名が合格しました(実施会場は表の通り)。

次回の検定は、2015年6月28日(日)に初級と中級を実施する予定です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

(URL) <http://workrule-kentei.jp/>



▲検定の様子

実施地	会場
札幌	札幌駅カンファレンスセンター・3階カンファレンスルーム3A
小樽	小樽経済センタービル・7階ホール
青森(★)	青森県労働福祉会館・4階大会議室
新潟(★)	新潟東映ホテル・2階朱鷺の間
東京	連合会館・2階大会議室
愛知(★)	名古屋国際センター・1階ホール
愛媛(★)	エスポワール愛媛文教会館

★印では初実施

第9回 連合・ILEC 幸せさがし文化展の募集スタート!

—働く仲間とその家族の公募展—

皆さんからのたくさんの応募をお待ちしています!



いよいよ第9回連合・ILEC幸せさがし文化展で、2月1日から俳句・川柳の部、4月1日から絵画・写真・書道の部の募集が始まります。今回も連合大賞、ILEC大賞をはじめ、好評を得ている「ジュニア特別賞(応募時年齢が15歳以下の方を対象とする賞)」や「シニア特別賞(応募時年齢が80歳以上の方を対象とする賞)」、その他各賞を設けました。

どなたでも応募できます。組合員の皆さんやそのご家族、組合OB・OG、一般の方々など、是非お声がけの上、ふるってご参加ください!

- 募集期間 俳句・川柳部門
2月1日(日)～5月15日(金)
- 絵画・写真・書道部門
4月1日(水)～5月15日(金)
- 発表 7月1日(水)
入賞者をILECホームページで発表

- 作品展示 8月上旬
ILECホームページに入賞作品全点を掲載
10月6日(火)～7日(水)
東京国際フォーラムホールA(連合第14回定期大会会場)1Fロビー 他

- 各賞 俳句・川柳(各部門)
連合大賞・ILEC大賞:各1名 賞状・賞金5万円
シニア特別賞:1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞:1名 賞状・図書カード3万円
その他各賞
- 絵画・写真・書道(各部門)
連合大賞・ILEC大賞:各1名 賞状・賞金10万円
シニア特別賞:1名 賞状・賞金3万円
ジュニア特別賞:1名 賞状・図書カード3万円
その他各賞

詳しくは「募集要項」をご覧ください。
ILECホームページでもご案内しています。

幸せさがし文化展

検索

編集後記

Rengoアカデミー第14回マスターコース前期合宿も無事に終わりました。開講日、多くの受講生がスーツケースを持ってきているのを見て、私も10年近く前にあざみ野駅から会場であるメロンディアまでの坂道を期待を膨らませながら、スーツケースをひいて向かったことを思い出しました。今回、講義を拝聴してみて、手前みそになりますが、各講義の内容が濃いと思うとともに、改めて多くの事が学べて、すこし得した気分でした。(アラ50)